

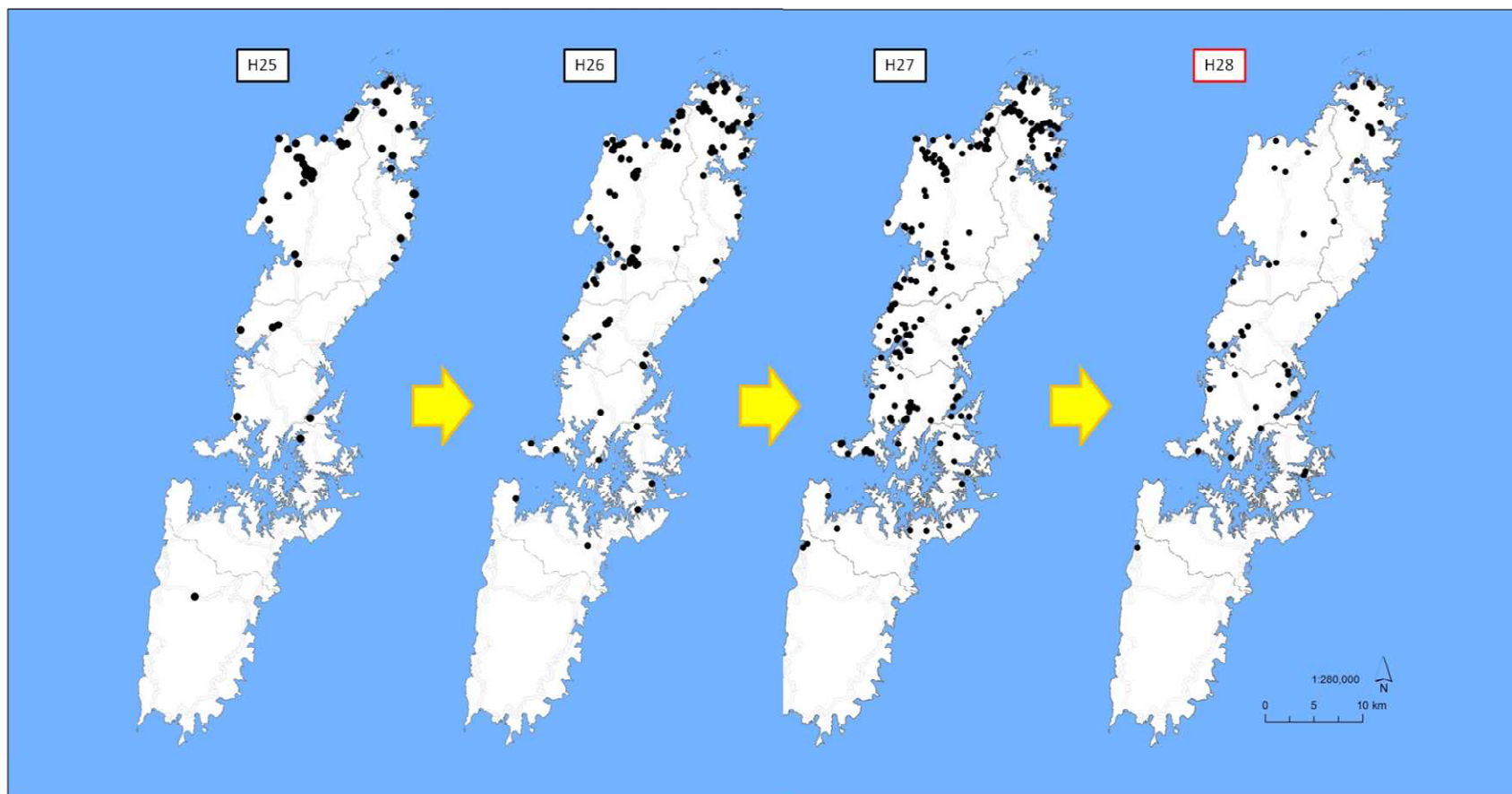
1. ツマアカスズメバチの巣の確認及び撤去状況

年度 旧町名	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	確認数	撤去数	確認数	撤去数	確認数	撤去数	確認数	撤去数
上対馬町	16	11	50	48	70	56	16	16
上県町	33	14	77	65	81	69	9	9
峰町	3	2	13	11	47	33	8	8
豊玉町	2	2	4	4	45	39	13	13
美津島町	1	0	6	6	14	9	2	2
厳原町	1	1	0	0	2	1	1	1
計	56	30	150	134	259	207	49	49

(注) 1. 確認数は実際の営巣数ではない。

2. 撤去数は、平成 25 年度は対馬市、平成 26 年度以降は対馬市及び環境省が実施した計数である。これ以外に、確認数のうち他の主体が撤去したもの、自然落下したもの、1 月以降に確認され撤去対象外としたもの（H27 年度 18 個）がある。

2 平成 25～28 年度に確認された営巣位置図



3 生息状況調査におけるスズメバチ属の捕獲状況の推移

表. 生息状況調査におけるスズメバチ属の捕獲状況の推移（7月）

	ツマアカ合計	オオ合計	コガタ合計	ヒメ合計	キイロ合計
H26(7月)	109	228	42	182	164
H27(7月)	433	198	209	142	51
H28(7月)	83	64	105	46	9

表. 生息状況調査におけるスズメバチ属の捕獲状況の推移（11月）

	ツマアカ合計	オオ合計	コガタ合計	ヒメ合計	キイロ合計
H27(11月)	1871	314	101	1	305
H28(11月)	108	12	9	1	98

※平成26年度は11月実施なし

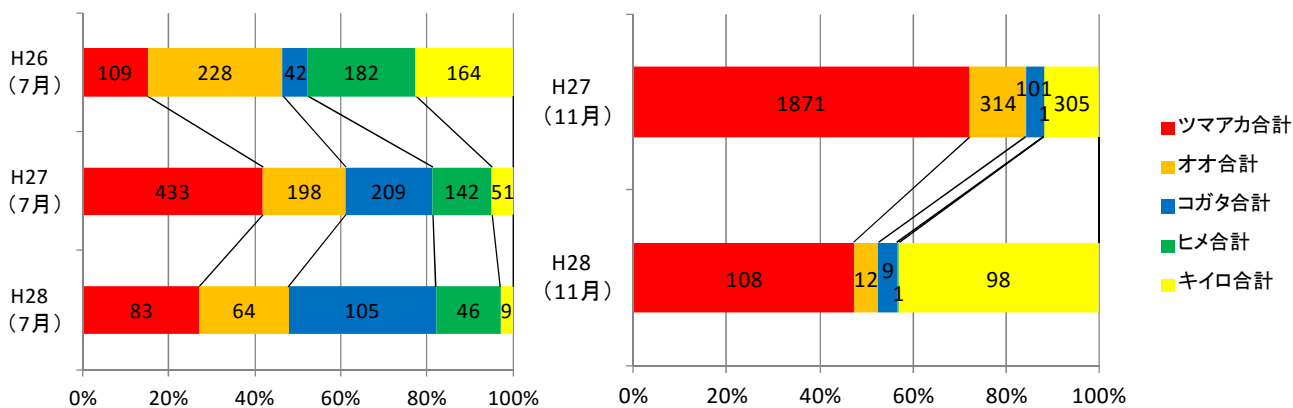
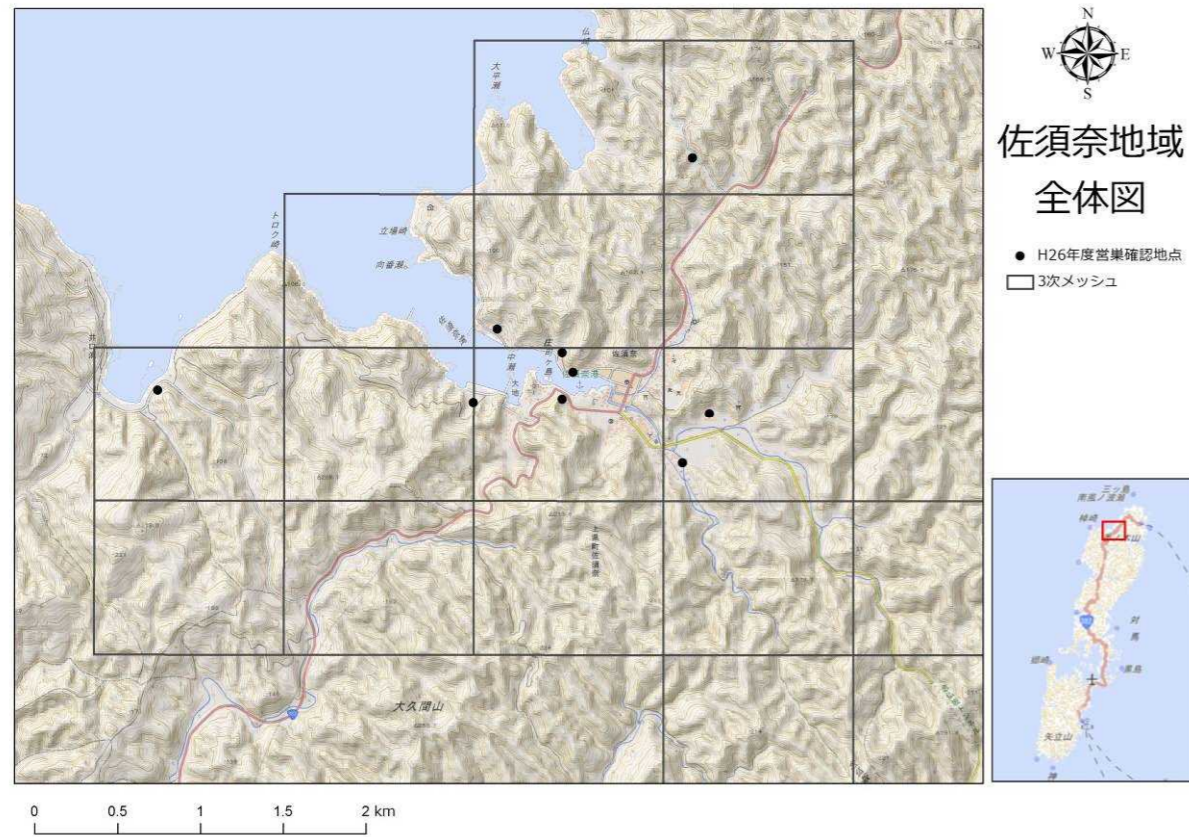


図. 生息状況調査におけるスズメバチ属の捕獲状況の推移（左：7月、右：11月）

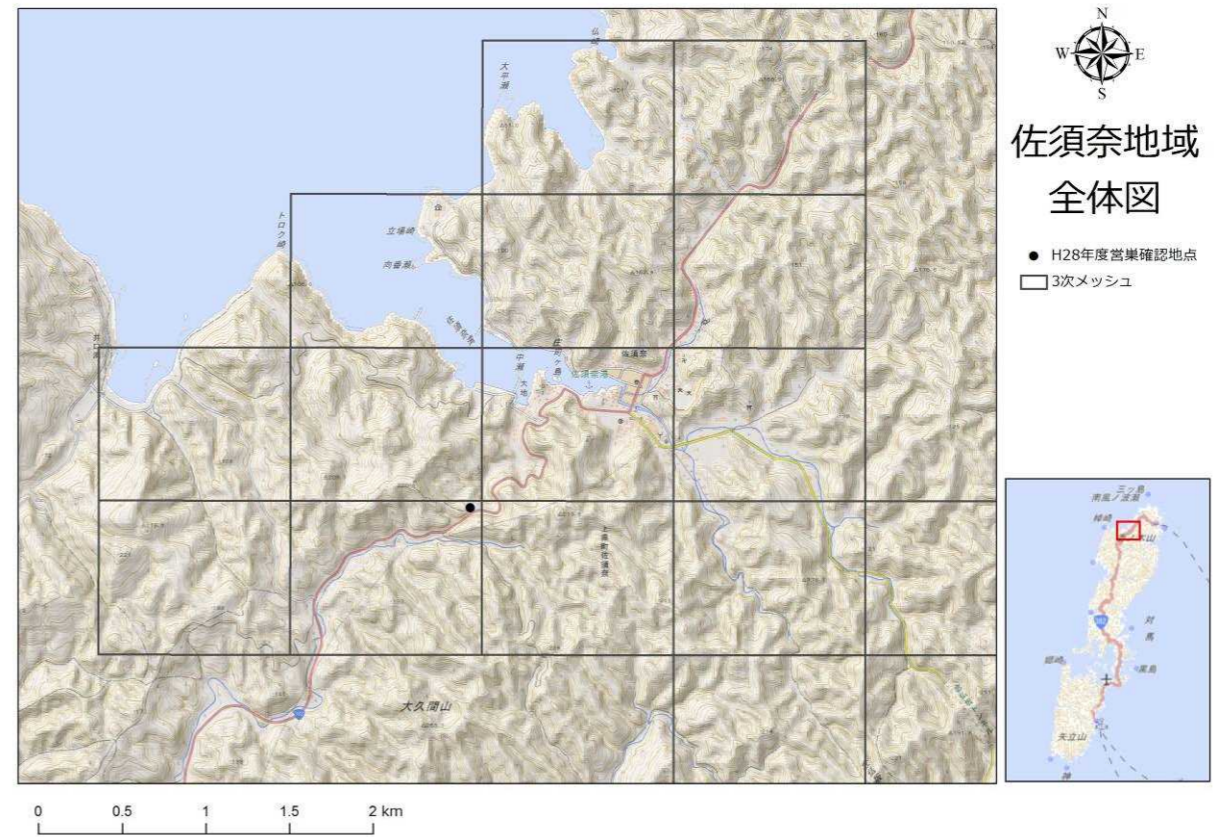
（※平成26年度は11月実施なし）

4 モデル地区における営巣状況（左上、左下、右上）と捕獲状況（右下）

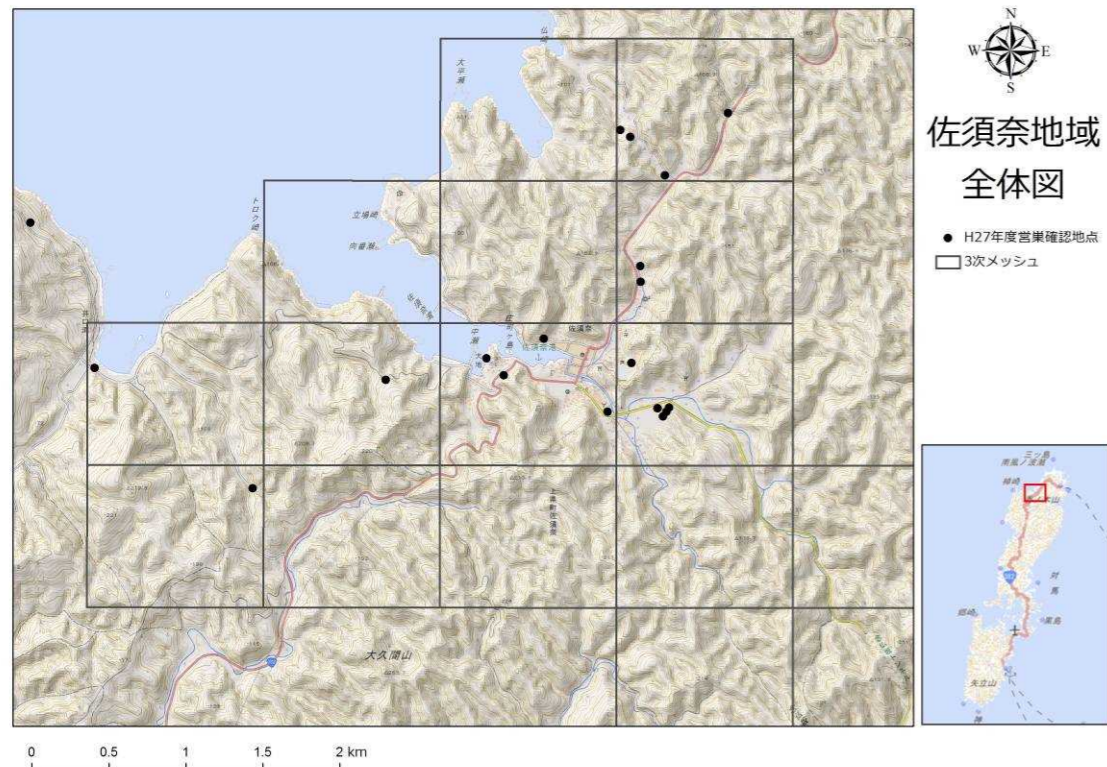
平成 26 年度



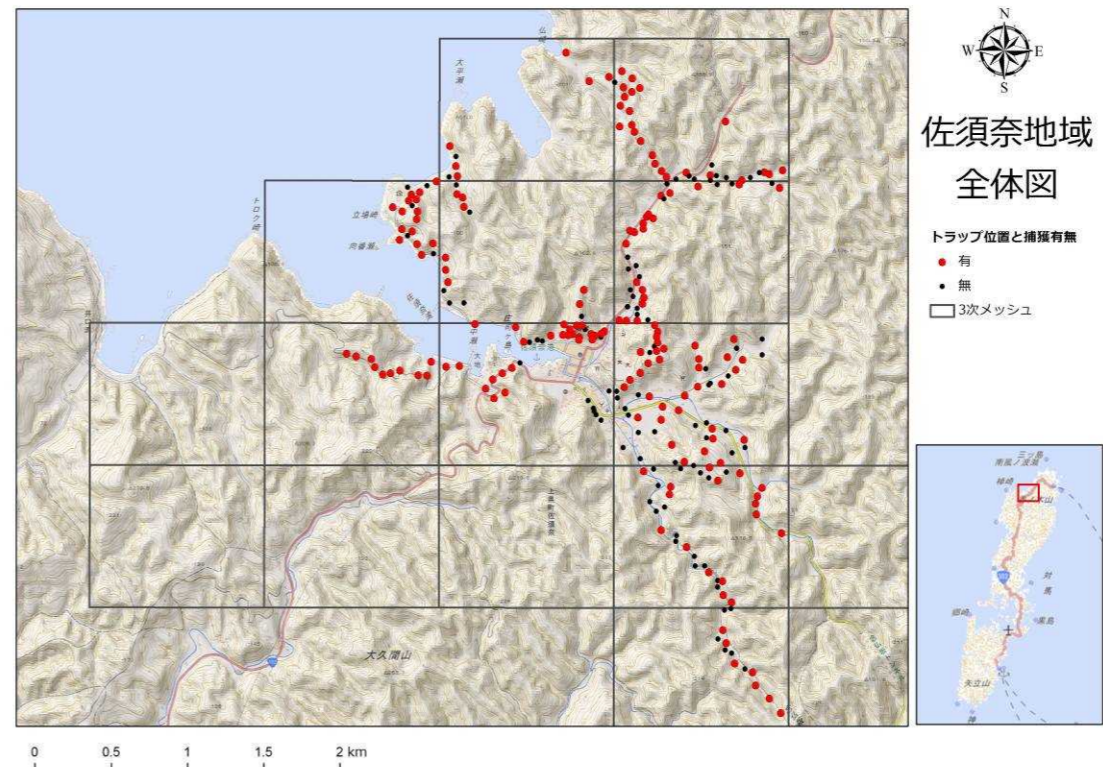
平成 28 年度



平成 27 年度



破損なしトラップのツマアカスズメバチ捕獲状況（平成 28 年度）



5. 平成 28 年春期における女王バチ捕獲状況

旧町名		① 申告 トラップ 設置数	②回収 サンプ ル数	③解析サ ンプル数 (*2)	④平均 ツマアカ 女王バチ 捕獲数	⑤回収サ ンプルか らの推定 捕獲数	⑥申告数か らの推定捕 獲数
上島	上対馬町	522	307	15	7.67	2354.7	4003.7
	上県町	782	266	14	5.57	1481.6	4355.7
	峰町	168	153	9	8.33	1274.5	1399.4
	豊玉町	180	190	15	5.33	1012.7	959.4
下島	美津島町	101	63	7	1.00	63.0	101.0
	厳原町	383	151	18	0.72	108.7	275.8
その他(*1)		288	287	-	-	1354.6	1359.4
合計		2424	1417	78	4.72	7649.8	12454.4

「推定捕獲数」の推定方法

- ・対馬市内でのツマアカスズメバチの分布域の偏りを考慮し、合併前の旧町6町に分けて整理。
- ・⑤回収サンプルからの推定捕獲数（回収実績から少なくともこの程度は捕獲されたと推定）＝ ②回収サンプル数 × ④平均ツマアカ女王バチ捕獲数
- ・⑥申告数からの推定捕獲数（設置申告されたトラップが全て1回設置されたと仮定した場合の推定数）＝ ①申告トラップ設置数 × ④平均ツマアカ女王バチ捕獲数
- ・旧町6町と「その他」の合計で、「推定捕獲数」はおよそ⑤7,000～⑥12,000匹と推定。
（「推定捕獲数」は簡易的な方法により推定した結果によるもので、あくまで参考値としてお示しするものです。）

*1：「その他」は長崎県対馬振興局及び対馬市による設置分。『回収サンプル数（又は申告トラップ数）× 全島の平均捕獲数 4.72』で推定捕獲数を算出。

*2：サンプル提供があった地区1か所につき、任意の1サンプル（1トラップ分）の個体数をカウントした。